

総合型潮スポーツクラブ



はじめまして

函館市で地域スポーツ活動をしています「総合型潮スポーツクラブ」です。
クラブは2005年ジュニアハンドボール「潮ハンドボールクラブ」として出発し、2015年に総合型地域スポーツクラブへと移行しています。

総合型地域スポーツクラブとは、1995年より文部科学省が実施するスポーツ振興施策の1つで、幅広い世代の人々が、各自の興味関心・競技レベルに合わせて、さまざまなスポーツに触れる機会を提供する、地域密着型のスポーツクラブの事を言います。

私たちの活動理念をご説明致します。

私たちの目指す目的は、新しいスポーツ文化の確立です。スポーツの考え方として、人にはする人、観る人、支える人が必要です。

その中で必要なものは、トップスポーツと地域の好環境の創出、新しい公共の形成等による社会全体でスポーツを支える基盤の整備です。

日本のスポーツの歴史では、学校スポーツ型チームを同世代、単一種目を小さな集団で、学校教師が学校対抗戦で行われてきました。しかし、これからは、年々継続することが難しくなってきたと思います。合同チームや廃部になるチームも年々増えているのが現状です。これからは、地域密着クラブが、多世代をターゲットに、多種目のスポーツ運営集団を作り地域のスポーツ指導者が、都市・地域を対抗戦で勤めていく時代になると判断しました。総合型クラブは、地域の子ども、大人、高齢者、障がいのある人誰もが暮らしにおける、生きがい促進のために、色々なスポーツの文化を通じて、楽しめる活動を提供する地域密着型の公益団体として、地域に親しみ、子どもたちを地域みんなで育てる町づくりに寄与します。多種目スポーツ運営集団を作るため「総合型潮スポーツクラブ」の目指すものは平和と文化と教育を守る「未来創造」であり「未来を創る」活動に取り組みます。

多 彩 館 新 聞

さまざまなハンドボールの大会で活躍する潮の選手



さまざまなハンドボールの大会で活躍する潮の選手

総合型潮スポーツクラブ発足1年

多彩な取り組み 日々進化

地域をもちょう動へ。「総合型潮スポーツクラブ」(発足1周年)が、3月末正式発足して1年を迎える。ハンドボールの潮クラブを前身とする同クラブは多世代(小学生から大人)まで、現在はスポーツのみならず文化系の講座などを用意して「生活の質(QOL)」の向上に「努めている。潮クラブは、「多世代」を軸とした活動の場、もっと楽しくもなる工夫をしていきたい」と意気込んでいる。(小杉真洋)



野菜の効率的な摂り方などが紹介された講習会

文化教室女性に好感触

潮クラブは、発足1周年を迎え、幅広い年代や障がいのある人、興味や特技を問わずに活動の場を提供している。文化系講座は、「多世代」を軸とした活動の場、もっと楽しくもなる工夫をしていきたい」と意気込んでいる。(小杉真洋)

運営の視野が広がる。潮クラブは、発足1周年を迎え、幅広い年代や障がいのある人、興味や特技を問わずに活動の場を提供している。文化系講座は、「多世代」を軸とした活動の場、もっと楽しくもなる工夫をしていきたい」と意気込んでいる。(小杉真洋)



人型を模ったダンス教室

はこしん
フォトサービス

写真撮影サービス
☎0138-40-7171

ウェブサイト: <http://www.hakodateshinbun.co.jp/photo>

活動クラブのご紹介

① 七飯ハンドボール少年団(拠点/七飯町)

ハンドボールやダンス楽しもう
潮クラブ七飯 入会者を募集

【七飯】総合潮スポーツクラブ(渡辺広幸会長、入会希望者を募集している)のハンドボール教える。渡辺会長は「ハンドボールを通じて運動する楽しさを知ってほしい」と呼びかけている。

同クラブは年齢や性別、障害の有無に関係なくスポーツを楽しむという総合型地域スポーツクラブの理念に基づいて、ハンドボールやダンス、ストレッチヨガなど6種類の運動系と文化系の講演など多彩なプログラムを用意している。

現在は毎月第4水曜日の午後6時半から約2時間、大中山地域体育館で月1回練習が行われている。今後は練習回数を増やす予定。入会などに関する問い合わせは渡辺会長(☎080・6094・5901)へ。

入会を呼び掛ける潮クラブ七飯のメンバーら




② 函館ドッジボールスクール

北海道ドッジボール協会加入団体として道南のドッジボール普及活動にも取り組んでいます。

競技人口増加へ取り組み加速

大会の開催など気運高まる

道南でドッジボールの競技人口増加を目指し、関係者の取り組みが加速している。函館では北海道ドッジボール協会が主催する普及活動が、函館の拡大に向けた取り組みが行われているが、函館でドッジボール大会の開催が決まると、競技を盛り上げようとする動きが高まっている。

「ドッジボール」と呼ばれる「ドッジボール」は、子供たちの運動能力や協調性、コミュニケーション能力の育成にも効果的とされ、小学校の体育にも取り入れられるなど、日本に広がりつつあるドッジボール。一方で、「競技」として取り組む場合は、安全対策や練習回数など、準備が求められる。

また、競技人口拡大には環境の充実も欠かせない。その一つとして、道南ではこれまで大会が開催されていなかったことが、道庁が主催する10月30日に市内交流大会を開催することになり、準備が進められている。

道南でも、函館市の総合型地域スポーツクラブ(USC)は、ハンドボールやダンス、ストレッチヨガなど6種類の運動系と文化系の講演など多彩なプログラムを用意している。

現在は毎月第4水曜日の午後6時半から約2時間、大中山地域体育館で月1回練習が行われている。今後は練習回数を増やす予定。入会などに関する問い合わせは渡辺会長(☎080・6094・5901)へ。

道南ドッジボールの競技人口増加を目指し、関係者の取り組みが加速している。函館では北海道ドッジボール協会が主催する普及活動が、函館の拡大に向けた取り組みが行われているが、函館でドッジボール大会の開催が決まると、競技を盛り上げようとする動きが高まっている。

「ドッジボール」と呼ばれる「ドッジボール」は、子供たちの運動能力や協調性、コミュニケーション能力の育成にも効果的とされ、小学校の体育にも取り入れられるなど、日本に広がりつつあるドッジボール。一方で、「競技」として取り組む場合は、安全対策や練習回数など、準備が求められる。

また、競技人口拡大には環境の充実も欠かせない。その一つとして、道南ではこれまで大会が開催されていなかったことが、道庁が主催する10月30日に市内交流大会を開催することになり、準備が進められている。

道南でも、函館市の総合型地域スポーツクラブ(USC)は、ハンドボールやダンス、ストレッチヨガなど6種類の運動系と文化系の講演など多彩なプログラムを用意している。

現在は毎月第4水曜日の午後6時半から約2時間、大中山地域体育館で月1回練習が行われている。今後は練習回数を増やす予定。入会などに関する問い合わせは渡辺会長(☎080・6094・5901)へ。



③4×4ストリートハンドボール

ストリートハンドボールは2006年デンマークで誕生した教育的ボールスポーツです。2016年に国際連盟と私たちが協力協定を結んで活動をしています。タックル禁止・ドリブル禁止の安全なスポーツなので男女混成競技として小学生に大人気です。北海道スポーツ振興局主催のイベントや岩手県でのスポーツ講習会、石川県小松市ドームでのスポーツイベント、神奈川県ハンドボール協会主催のハンドボールオリンピックイベント、熊本県で行われたハンドボール女子世界選手権大会応援イベント、岩見沢教育大学祭などで体験会を開催しました。

ストリートハンドボール 道南で認知度じわり

潮スポーツクラブが教室

限られたスペースで気軽に接触なく安全に楽しめる

ストリートハンドボール セーレン氏が教室

創始者から基礎学ぶ

パスやポジショニングなど

ストリートハンド満喫 ミニゲーム会

デンマーク生まれのニュースポーツ、ストリートハンドボールのミニゲーム会が14日、函館共愛会千才認定こども園(斉藤裕美園長)で開かれた。同園の年中、年長児13人が4〜5人1組のチームに分かれて、練習の成果を出し合って熱戦を繰り広げた。

総合型潮スポーツクラブの渡辺広幸代表が、同園でさまざまな球技指導を続けており、今回は1年ほど前から室内で練習してきたストリートハンドボールを屋外でやってみようと、ミニゲーム会を初実施した。子どもたちは色分けした帽子を被ってチーム編成し、これまで取り組んできたパスやキャッチの練習成果を出してゴールを目指していた。ポイントが決まるとメンバー同士で「やったね」と喜び合っていた。斉藤園長は「ボールの扱い方をしっかり学んできたので、恐怖心もなく楽しくなっていた」とほほ笑んでいた。

(小杉貴洋)

国際ストリートハンドボール連盟と2016. 2. 8に協力協定書を交わしています。日本国内の普及活動に取り組んでいます。函館市内では、保育園訪問活動をしています。幼児にはバルシューレなども取り入れ育成プログラムとなる活動もしています。※マッチインストラクター資格講習会もあります。指導と審判を兼ね備えた資格です。ストリートハンドボールの指導・大会などを行う為に必要なカリキュラムです。(有料)

●障がい者スポーツ体験会

私たち総合型潮スポーツクラブは、障害の有無に関わらずスポーツの楽しさを伝える活動をします。

障害者スポーツ
楽しくて難しい
函館で体験会

北海道障がい者スポーツ協会などが主催する「障害児者スポーツ拠点づくりプロジェクト事業」が11日、函館市立中部小学校で開かれ、参加者が障害者スポーツを体験した。

同事業では道内の障害者・障害児が、身近な地域で継続的にスポーツに参加できる環境づくりを目指す。地域スポーツの担い手となっている総合型地域スポーツクラブと連携し、コーディネーターが障害者スポーツの用具やルールを紹介し、拠点づくりを進めている。



座ったままで風船を打ち合うシッティングバレーを体験する参加者

本年度は道内6カ所での開催を予定しており、函館では総合型潮スポーツクラブと連携。この日は、クラブの会員とその子供たち約40人が参加した。NPO法人「あ・りーさだ」代表理事の正木英之さん（札幌）がコーディネーターとしてスポーツ用車いすやシッティングバレーボール、フライングディスクを紹介した。

参加した会員や子供たちは、スポーツ用車いすに乗って動かしてみたり、座ったまま風船を打ち合うシッティングバレーボールのゲームを楽しんだりした。スポーツ用車いすに初めて乗った港小6年の永田真広君（11）は「急なカーブが難しかった」と話していた。

10月と12月にも函館での開催を予定している。

（内田晶子）

障害者にスポーツ広まって



指導者の肩を借りながらスラックラインを体験する生徒

北海道障がい者スポーツ協会（札幌）などが主催する「北海道障がい児者スポーツ拠点づくりプロジェクト」が函館高等支援学校で行われ、1年生が3種類のニュースポーツを体験した。

同協会は障害児が地域で積極的にスポーツに参加できる環境づくりを目指し、道内各地の総合型地域スポーツクラブと連携してプロジェクトを実施。函館では総合型潮スポーツクラブと計3回の開催を計画、7月に続き9月21日に2回目が開かれた。

この日は、同協会コーディネーターの正木英之さん（NPO法人「あ・りーさだ」代表理事）や同クラブの渡辺広幸代表らが学校を訪れた。生徒は空中に張ったベルトの上を歩いたり跳ねたりする「スラックライン」や、2人1組で行う米国発祥のフライングディスクの新競技、車いすストリートハンドボールを体験した。

スラックラインに初挑戦した川端竜ノ助さん（15）は「自力でゴールまで行けなかったが、上達したい」と話していた。（押野友美）

函館 高等支援学校生が体験

●保育園訪問スポーツ指導



認定こども園の訪問スポーツ指導を行っています。ぜひ、ご利用ください。

ホームページ

<https://ushiosportsclub.jimdofree.com/>

潮クラブ

<https://www.facebook.com/ushiosportsclub>

七飯ハンド

<https://www.facebook.com/ushiohandballclubnananeredpines>

ドッジボール

<https://www.facebook.com/ushiododgeballschool>

ストリートハンドボール

<https://www.facebook.com/ushiostreethandball>

スラックライン

<https://www.facebook.com/slacklininyakaniam>

日本ディスフレクト連盟

<https://www.facebook.com/Japandiscflect>

ストリートハンドボールジャパン

<https://happy-w.wixsite.com/streethandballjapan>

役員のご紹介

2022～



代表・会長 渡辺 広幸

【専門／ストリートハンドボール・ドッジボール・アソビバキッズ・ディスフレクト】

(財)日本スポーツ協会公認アシスタントマネジャー (財)日本スポーツ協会公認スポーツリーダー
ストリートハンドボールジャパン代表 国際ストリートハンドボール認定プロジェクトマネージャー
函館市教育委員会認定地域スポーツ指導員 北海道ドッジボール協会 理事
(財)日本ドッジボール協会公認指導員(区分I) バルシューレジャパン公認指導者C級



常任理事 宮田 建一

【専門／ハンドボールアカデミー】

(財)日本スポーツ協会公認アシスタントマネジャー (財)日本スポーツ協会公認スポーツリーダー
(財)日本体スポーツ協会公認スポーツ少年団認定員 バルシューレジャパン公認指導者C級
ストリートハンドボールマッチインストラクター



常任理事 納谷 智大

【専門／ハンドボール・スラックライン】

日本ストリートハンドボールマッチインストラクター バルシューレジャパン公認指導者C級
高等学校教員資格 スラックラインC級指導認定員 保護司



理事 山内大輔

【専門／ハンドボール・ディスフレクト】

公認ハンドボールコーチ1 日本ストリートハンドボールマッチインストラクター
バルシューレジャパン公認指導者C級



理事 小林 誠

【専門／ハンドボール】

七飯ハンドボール少年団レッドパインズ監督 日本ストリートハンドボールマッチインストラクター



顧問 工藤 義之

(財)日本ドッジボール協会公認指導員(区分I) (財)日本ドッジボール協会B級公認審判員
北海道ドッジボール協会 理事長 (財)全日本スキー連盟 1級
バルシューレジャパン公認バルシューレ指導者C級



特別顧問 志賀谷 隆

(財)日本体育協会公認スポーツリーダー 北海道議会議員 保護司
函館市本通町会長 バレーボール函館北高校OB

HAKODATE, HOKKAIDO



USHIO SPORTS CLUB



協力団体・協賛会社

大樹生命保険株式会社、(有)設計工房アーキトレヴ、(株)大協設備工業、(有)亀谷産業
(有)トラスト、Lovely Dog、(有)大谷石材、ガトーフレーズ、ボディーショップHKC
すき焼かみむら、Newten-sports、北海道スラックライン、上林^{行政書士}事務所^{社会保険労務士}
島手そうめん販売(株)、上磯レラモンキーズハンドボールクラブ
国際交流団体(社)ブロック、REAL HANDBAL



北海道アスリートトレーニング
総合型潮スポーツクラブ
〒040-0074
北海道函館市松川町23番2号
電話・FAX (0138) 41-0032
E-mail/happy-w@ncv.jp